

災害に備える



平成 16 年 8 月台風 16 号による被害（牛窓町地内）

平成 16 年 8 月台風 16 号による被害（邑久町地内）

近年多発する台風や集中豪雨は、今までの予想を超える大きさや強さで多くの被害を引き起こしています。昨年9月の関東・東北豪雨では、栃木県で24時間雨量551mmを記録しました。この豪雨により鬼怒川が氾濫し、死者8人を出す大災害となりました。

また、中国地方においては、平成26年8月に広島市で豪雨による土砂災害、平成25年7月に山口県、島根県県境付近で豪雨災害が発生しました。広島市の災害では、死者74人と過去30年で最も人的被害が出た土砂災害となりました。

近年における豪雨の特徴

近年発生している豪雨の特徴は、短時間のうちに局地的に激しい雨が降り、土石流や斜面の土砂崩れなどの土砂災害が発生していることです。

下表は、1時間降雨量の危険度を示しています。このような豪雨が発生したら、いち早く安全な所に避難することが重要です。

また、豪雨の発生が夜などで安全な場所に避難することが困難な場合は、自宅の2階など、自宅の中でも安全な所に避難することも効果のある避難行動といえます。

近年は、自然環境の変化により、潮位の上昇や局地的な集中豪雨など異常気象による災害が多数発生しています。

災害が発生した場合、私たちが経験した災害を大きく上回る可能性は極めて高く、本市も災害・防災への

▽1時間降雨量の危険度

危険度	1時間雨量	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
低	10～20mm	やや強い雨	ザーザーと降る	長く続くときは注意が必要
	20～30mm	強い雨	土砂降り	小規模なげけ崩れが始まる
	30～50mm	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	土砂災害の危険地帯では、避難の準備が必要
	50～80mm	非常に激しい雨	滝のように降る	土石流が起こりやすく、多くの災害が発生
	80mm～	猛烈な雨	圧迫、恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生する恐れが強く、嚴重な警戒が必要
高				

備えを決して軽視できない状況です。

災害に対する備えをしておくことが、災害被害の軽減につながります。過去の災害経験を踏まえて、個人・地域の防災力を高めておきましょう。

総合防災訓練を実施します



避難訓練の様子

市では、M9・0クラスの南海トラフ地震が発生し、瀬戸内市で震度6弱を観測、液状化、土砂崩れ、家の倒壊や建物火災、ライフラインの途絶があり、また沿岸部に津波警報が発表され、3級の津波が襲来するとの想定で「第10回瀬戸内市総合防災訓練」を行います。

この総合防災訓練は、岡山県や関係機関と連携し、人文字による救助要請訓練、初期消火訓練、放水訓練などを行います。皆さん、積極的にご参加ください。

▽日時 9月4日(日)午前9時～

▽場所 牛窓北小学校

※小雨決行。気象警報などの状況により、中止する場合は、当日の午前7時ごろに防災行政無線などでお知らせします。

固危機管理課

☎0869・22・3904

台風・集中豪雨に備えて

台風や大きな雨雲が近づいてきたら、雨量や周囲の現象に注意し、テレビやラジオ、防災行政無線のサイレンや音声で広報される情報に耳を傾けるようにしましょう。

台風・集中豪雨の発生する恐れがあるときは、気象庁が警報や注意報、気象情報などの防災気象情報を発表します。また、災害が発生する恐れがあるときは、市が避難勧告などの避難情報

防災行政無線放送の自動再生

電話による防災行政無線の自動再生を行っています。放送が聞き取りにくい場合は、下記の電話番号から放送内容をご確認ください。



☎0869-22-0699
☎0869-22-0032

報を発令します。避難情報は緊急速報メールや市メールマガジン、市ホームページなどでも配信します。

また、岡山防災ポータルなどのインターネットによる情報サービス、地上デジタル放送のデータ放送（dボタン）を活用することや、防災情報メールに登録することなどにより、河川の水位や海の潮位、防災気象情報を自宅や外出先でも収集することが出来ます。安全に避難するために、自ら情報を収集することも大変重要です。

地震・津波に備えて

南海トラフ地震が発生した場合、本市では最大震度6弱、津波は地震発生後約2時間後に到達し、津波の高さは最大3メートル程度になると想定されています。

市では、地震・津波に関する知識や対処方法などの学習面と、南海トラフ地震が発生した際の震度や液状化、津波による浸水範囲とその深さを示した「地震・津波ハザードマップ」を作

6弱

【震度6弱】

- 立っていることが困難になる。
- 固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることもある。
- 壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することもある。
- 耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることもある。倒れるものもある。

耐震性が低い

耐震性が高い

震度6弱の揺れと被害想定（気象庁提供）

成し、市民の皆さんに配布するとともに、海拔表示標識を市内500カ所に設置しています。

ハザードマップなどを活用し、家族、地域（自主防災組織）で家具の固定などの地震対策と、迅速・安全により高い場所に避難できるよう、津波から身を守る対策をしておきましょう。

日頃からの予防対策

市では、「洪水・土砂災害ハザードマップ」と「地震・津波ハザードマップ」を市ホームページで公開しています。

ハザードマップは、地域に起こり得る災害の被害の程度や避難場所などを示したものです。ハザードマップを活用し、あらかじめ下表のような予防対策をしておきましょう。

固危機管理課
☎0869・22・3904
HP <http://www.city.setouchi.lg.jp/>

○避難場所や避難経路の確認（最寄りの避難場所までの時間や避難経路の安全性を確認）
○災害時の家族の連絡方法の確認（災害用伝言ダイヤル171など）
○防災用語の理解（気象警報や避難情報など）
○防災メールの登録（県防災情報メール、市メールマガジンなど）
○一次持出品の準備（避難する際に持ち出す家族3日分の食料、飲料水など）
○二次持出品の準備（長期の避難生活に備えた食料や飲料水、生活用品など）
○自宅の周りの点検（雨どいや排水管の点検清掃、樹木の手入れなど）
○家具の転倒防止（家具や家電をL型金具や突っ張り棒、耐震マットなどで固定）
○住宅の耐震対策（日常点検や補修、耐震診断・補強工事）
○自主防災組織の活動（地域ぐるみで予防対策、防災訓練など）

瀬戸内市メールマガジン

災害時には、避難情報のほか、道路の通行止め情報などを配信しています。また、市のイベント情報なども配信しています。



携帯電話用QRコード

瀬戸内市メールマガジン HP
<http://www.city.setouchi.lg.jp/i/magazine.html>